



大西 成明

略歴

1952年奈良県生まれ。早稲田大学第一文学部社会学科卒業後、工作舎で雑誌「遊」に関わり、写真を始める。1983年よりフリー。「生命」や「身体」をテーマに、「生老病死」の姿をドキュメントした写真を撮り続けている。

主な仕事に、写真集『象の耳』（日本写真協会新人賞）、雑誌連載『病院の時代』（講談社出版文化賞）、『地球生物会議ポスター』（ニューヨークADC賞ゴールドメダル）、写真集『ロマンティック・リハビリテーション』（林忠彦賞・早稲田ジャーナリズム大賞）など。また、2001年には、TBS主催の「鑑真和上と世界の写真家展」に参加、世界7ヶ国の写真家とともに、“天平の美”を撮りおろした。その他の写真集に、『美神の邂逅』、『日本の川100』、『ひよめき』、『ホネホネたんけんたい』、『人形記』などがある。

東京造形大学教授（2010年～17年）。

公益社団法人日本写真家協会会員。

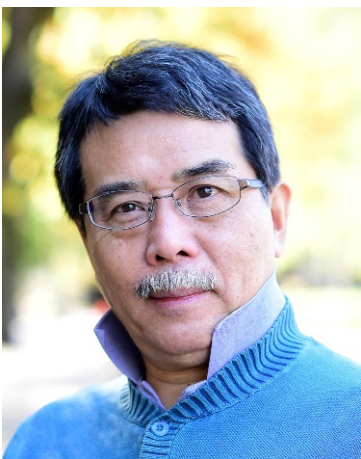


Photo : Toru Takamura

島田 聡

略歴

1955年東京都生まれ。東京教育大学教育学部芸術学科卒業後、現代写真研究所にて基礎科、本科修了。1981年よりフリー。福祉、教育、児童などの分野で月刊誌、単行本、雑誌等で作品を発表。

主な写真展に、「日はまたのぼる」キヤノンギャラリー、「山のむこうに」コダックフォトサロン、「Be silent」ペンタックスフォーラム、「しりとり」オリンパスギャラリー、「いろはにほへと」オリンパスギャラリーなど。日本の伝統色をテーマとした「いろはにほへと」展は、国内3箇所のほか、2003年、国際協力基金の助成により、チリ・サンティアゴ市でも開催、好評を博す。

写真集に「とびきりの日常—ある日の木更津社会館保育園」ほか、日本写真家協会編「おんな」「生きる」「日本の海岸線」等に作品所収。

公益社団法人日本写真家協会常務理事。